

互いの文化を認め合う 多文化共生のまち おごおり

☎総務広報課男女共同参画推進室 ☎72-2111



多文化共生絵画コンクール 小学低学年の部金賞
御原小学校2年 筒井茉琴さんの作品

小郡市多文化共生推進プランを策定しました

小郡市には、留学や技能実習などの目的で約900人（令和3年8月1日現在）の外国人が暮らしていて、文化が異なる人と接する機会が増えていると思います。

地域で日本人市民と外国人市民が、お互いの文化を尊重しながら共に安心して生活できるよう、多文化共生社会の実現をめざし「小郡市多文化共生推進プラン」を策定しました。



小郡市多文化共生推進プラン▶

多文化共生に関するアンケートの結果

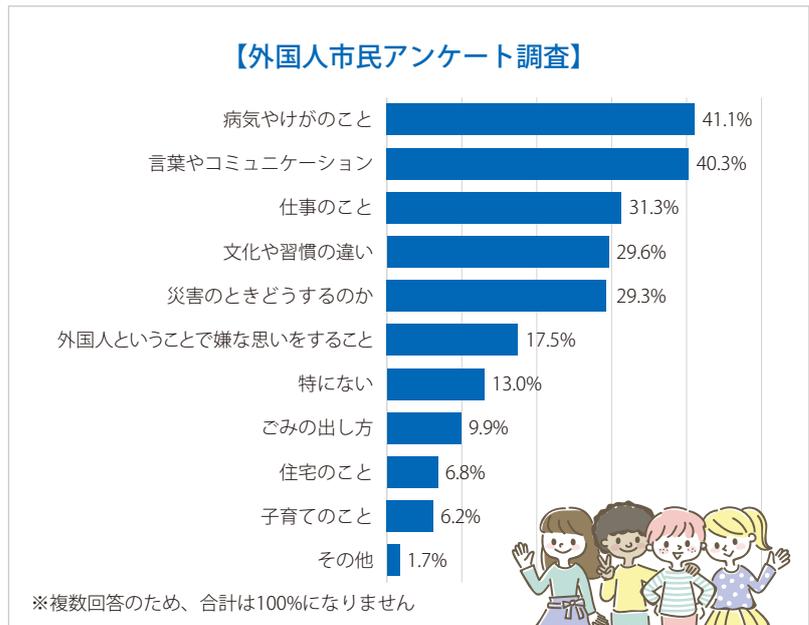
プランを策定するにあたり、日本人市民をはじめ外国人市民・区長の皆さんを対象に、多文化共生に関するアンケート調査を実施しました。



Q 普段の生活で困っていることや不安に思っていることは何ですか

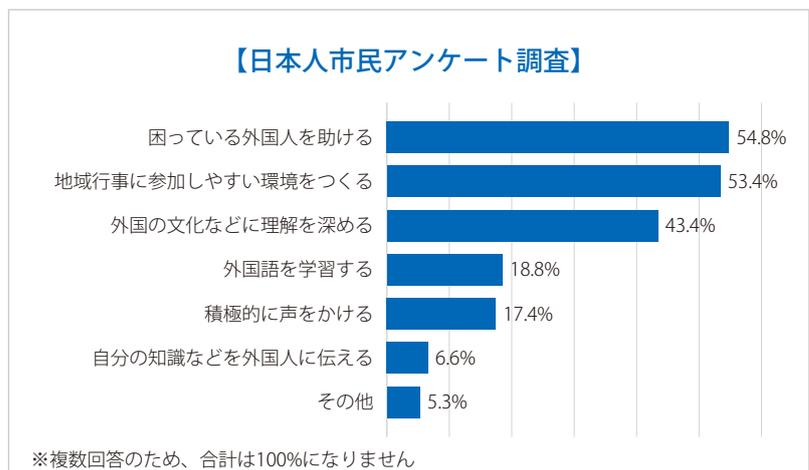
この設問からは、外国人が病気や仕事、災害など生活のさまざまな場面で、困り事や不安があることが分かりました。幅広い分野での支援や情報提供が求められています。

「外国人ということで嫌な思いをすること」という回答もあり、外国人に対する人権の問題への取組も考えていく必要があります。



Q 外国人と互いに仲良く生活するために、日本人はどのようなことが必要だと思いますか

この設問では、外国人と互いに仲良く生活するために、「困っている外国人を助ける」という回答が最も多くなっています。次に「地域行事に参加しやすい環境をつくる」「外国の文化などに理解を深める」といった回答が多くありました。同じ住民として助け合いや交流が必要だと感じている人が多いことが分かりました。





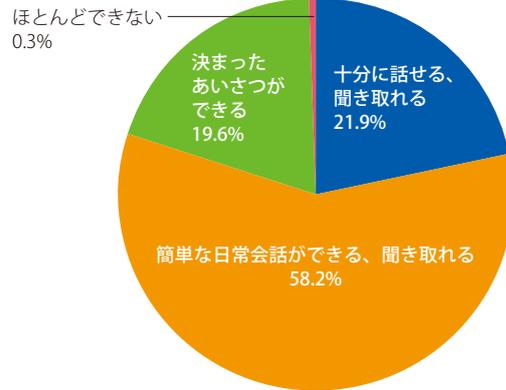
どのくらい日本語ができますか (話すこと、聞くこと)

この設問では、外国人の約8割が簡単な日本語を理解できることが分かりました。

私たち日本人が外国に行くときも、文化や言葉の違いで不安な思いをするかもしれません。「外国人だから」と思わず、気軽にコミュニケーションをとってみましょう。

まずは「やさしい日本語」で声をかけてみましょう。「やさしい日本語」とは、普通の日本語よりも簡単で外国人にも分かりやすいように配慮された日本語のことです。

【外国人市民アンケート調査】



やさしい日本語のポイント

- 簡単な語彙を使う
(目安は小学校2～3年生で習う言葉)
- 漢字にはふりがなをつける
- 文は短く、文節に区切りを入れる
- あいまいな表現、二重否定を避ける
- 外来語やカタカナはなるべく避ける



元の日本語	言い換え例
ごみは分別して指定日に出してください。	ごみは 分ける 決まりがあります。ごみを 出す 日は 決まっています。
こちらには初めて来られましたか？問診票をお書きください。	ここに、初めて来ましたか？これを 書いてください。
迅速な避難が必要です。	はや に 早く逃げてください。

「おごおり多文化共生推進大会」を開催しました

昨年12月11日、小郡市とおごおり国際交流協会の共催で「おごおり多文化共生推進大会」を開催しました。在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館のグエン・ヴァン・ロイ領事を講師に迎え「多文化共生をめざして」をテーマに講演を行いました。

また、「多文化共生絵画コンクール」入賞作品の発表・展示を実施。小郡の魅力を市内外、さらには国外にも発信するために制作した小郡市紹介動画「WELCOME TO OGORI ～ようこそ おごおりへ～」も上映しました。YouTubeで見ることができます。ぜひこの機会に、多文化共生のことを考えてみませんか。



小郡市紹介動画
「WELCOME TO OGORI」



おごおり多文化共生推進事業は、宝くじの収益金で運営しました。